学校だより

丹波篠山市立多紀小学校　　令和6年7月20日

体験を通じて学ぶ

1学期が終わりを迎えました。この1学期間はどの学年においても、それぞれの学習の中で課題解決に向けて主体的に取り組む様子が随所で見られました。友だちの意見にしっかり耳を傾け、自分の考えと比べながら対話を通して学びを深めることができました。

子どもたちが楽しみにしている夏休みの到来です。子どもたちが自分でやってみたいと思うことに思いっきり取り組むことのできる夏休みです。保護者や地域の方々は、子どもたちと「何に興味があるか」「何にチャレンジしたいか」「どんなことができるか」を共有して一緒に楽しんでいただきたいと思います。

生涯学習社会ということばがあります。学習は子どもの時期だけでなく、生涯にわたって学び続けることが重要です。仕事として研究などの学びを続けておられる方だけでなく、社会のなかでそれぞれの職種で常に多くの方が学びを深められています。スポーツ選手は体の仕組みや動かし方を常に勉強されています。また、社会教育施設やコミュニティセンター等の事業に積極的に参加されている方もあります。高齢者大学に通われ学びを深めておられる方もあります。

子どもたちにとって大切なことは、興味を持ったことにいろいろ挑戦してみることです。夏休み中は、いろいろな施設でいろいろな体験ができます。出かけなくても、家の周りに自然や活動場所がたくさんあります。また、調べてみたいことは図書館やインターネットで調べることもできます。おじいちゃんやおばあちゃんにいろいろな話を聞くこともできます。大人の方には、是非子どもたちと一緒に「新たなチャレンジ」を楽しみ、学ぶ楽しさをたくさん感じる夏休みにしていただければと思います。

夏休みを迎えるにあたって

子どもたちが楽しみにしている夏休みです。夏休みは、子どもたちの生活の場が家庭や地域中心となります。日頃の学校生活では得られない活動や体験ができるようお力添えいただければ幸いです。また、家族のふれあいを深め、心の絆をいっそう強くしていただき、子どもたちにとって有意義な生活が送れますようお願いいたします。

なお、学校では夏休みを迎えるにあたって、「夏休みのくらし」を作成して発達段階に応じた指導をしています。ご家庭でも約束事などを決めていただき、安全で楽しい、有意義な夏休みになりますよう、ご指導をお願いいたします。

学校生活アンケートの結果について

今年度も、子どもたちの学校生活の様子を把握するために6月に「学校生活アンケート」を実施しましたので、その結果の概要をお知らせします。

①「いじめられたことがある」と答えた児童が複数名いました。アンケートを実施した日に担任中心に聞き取りを行い、いじめ対応チーム会議により今後の対応について検討しました。その内容は、「いやなことを言われた」が多く、くわしく聞き取った内容をもとに関係する児童に個別指導しました。今後においても、継続して様子を見守り、取り組みを続けるとともに、発達段階に応じて道徳の時間等でも指導を行っていきます。

②「いじめたことがある」と答えた児童は「いじめられたことがある」とも答えていました。聞き取りをしていくなかで、自分もいやな思いをしたが、相手にもいやな思いをさせていると気づいている児童が多く、自分の言動を振り返る機会となりました。

③「いじめられたとき誰に相談しますか」の問いには、担任、友だち、保護者に相談する児童が多いことがわかりました。しかし「誰にも相談しない」と答えた児童も複数名います。児童一人一人との懇談を通じて「誰かに相談する大切さ」を再度伝えるとともに、全職員が相談しやすい雰囲気づくりを心がけ、見守っていきます。ご家庭で気づかれたことがありましたら、いつでも学校にご相談ください。

④「いじめを見たらどうしますか」という問いに対して、多くの児童が「注意する」「先生に伝える」等のアクションをとることがわかりました。しかし「何もしない」と答えた児童も数名います。「何もしない」と答えた児童も「先生に伝える」等のアプローチをしていけるよう、日々の指導や「道徳」「学活」などの授業を通して、「自分も友だちも大切にする」ことを今後も児童に伝えていきます。

多紀小トピックス

１年　ささやまの森

２年　こいのぼり

３年　黒豆苗植え

４年　清掃センター見学

５年　田植え

６年　市長さんの訪問授業